



7・8月の園だより

学校法人志賀学園
松の実こども園
令和3年7月1日

トマトの苗の背が高くなり、収穫の日も待ち遠しい季節となりました。ガーデニングクラブのお母様方もグリーンカーテンを設置してくださいました。これから、朝顔やゴーヤの蔓が伸びてくる様子も楽しみですね。

年長組さんがさつまいもの苗を植えに、畑へ行ってきました。じゃがいもやさつまいもも収穫の時期がきましたら、お楽しみ会のカレーやポテトサラダ、お菓子作りの材料に使っていきます。畑に行く楽しみは、収穫活動の他、虫探しをしたり、カエルを捕まえたりすることです。持ち帰って育てたい気持ちはあるのですが、カエルは生きた虫を食べて生きているので、畑に戻してあげることになりました。子どもたちは、カエルに大変興味を示していましたので、R先生が自宅側の田んぼからオタマジャクシを捕ってきてくれ、水槽で飼育することになりました。茹でたほうれん草などのエサをあげていると、次第に手足が出てきて尻尾がなくなり、小さなカエルに成長しました。その後、カエルに成長する度にR先生が持ち帰り田んぼに逃がしてあげてを繰り返しています。このような経験から生き物の生態を学ぶ機会にもなっております。

また、先日、カブトムシの雄と雌を9匹いただきました。毎年この時期、“子どもたちに見せてあげてください”と持ってきてくださる方がいます。夜行性なので、「どうして動かないの?」と、昼間はあまり活動しない様子を不思議がっている子どもたち。毎朝、ゼリーのエサをあげたり、霧吹きでマットに水を掛けたりしています。これから、生態を調べながら育てていきたいと思います。

さて、もうすぐ「七夕」です。七夕は、天の川の橋を渡って織姫と彦星が一年に一度だけ会うことを許される日です。星座で言うと、織姫はこと座のベガ、そして彦星はわし座のアルタイルです。この二つの星は旧暦の7月7日に天の川を挟んで最も光り輝いていることから、七夕の物語が生まれたと言われていています。七夕の夜、お子様と一緒に伝統の星を探してみるのも素敵ですね。

これから、暑い日が続きますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策、熱中症や夏風邪など、体調管理には十分に留意しながら、プールや水遊びなど夏ならではの遊びを充実させていきたいと思います。また子どもたちは、七夕飾りや夏まつりごっこに向けて、提灯やお神輿などを作って、日本の夏の伝統行事を楽しんで参ります。お楽しみに！